

京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 通院中の患者様へ

**「2型糖尿病通院患者におけるSGLT2阻害剤が  
腎機能へ与える影響についての検討」に関する調査へのご協力をお願い**

今回、京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科は、京都府立医科大学 内分泌・糖尿病・代謝内科とともに2型糖尿病通院患者におけるSGLT2阻害剤による腎症の予防を目的とした調査・研究を実施いたします。そのため、京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科を受診されている患者様の診療録（カルテ）に記載されております診療情報を学術調査目的に利用させていただきたいと考えています。

**研究の目的**

SGLT2阻害薬は、尿中に余分なグルコースを排泄することで血糖を低下させる新しいタイプの血糖降下薬です。グルコースと同時にナトリウムも排泄させるため、多様な臨床的効果が期待され、心不全の進展防止効果や腎保護作用が報告されています。一方、SGLT2阻害薬は、体液量が減少、脱水になることや、尿路・性器の感染症、皮膚の症状などの副作用への注意が必要とされ、腎機能低下をきたしやすい高齢の糖尿病患者さんを中心に、一般的に腎機能が低下した場合や多剤を併用している場合や薬剤の感受性が変化することで副作用が重篤化しやすいといわれています。しかし、日本人を対象とした腎保護効果に関しての報告はいまだ少なく、本研究では当院の2型糖尿病患者さんにおけるSGLT2阻害薬の腎機能への影響について、薬剤別や腎機能別に有効性と安全性を検討します。

**研究の方法**

- ・対象となる患者様について；平成26年10月1日から平成29年10月31日までに京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科を受診された2型糖尿病患者さんのうち、SGLT2阻害薬の処方開始され、24か月間処方を継続され、糖尿病・内分泌内科に通院中の患者様が対象となります。
- ・方法について；患者様の診療録（カルテ）より臨床検査値や既往歴、使用薬剤などを収集し、分析します。
- ・資料の管理について；情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院 医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

また、ご協力いただけない場合には、ご遠慮なくお申し出ください。

連絡先：京都第一赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

電話：075-561-1121（担当；長谷川）